

ウラギンシジミ (雄) (シジミチョウ科)

翅の表側



翅の裏側



雄については、<sup>はね</sup>翅を広げると見える表側は茶色で、赤色の模様があります。裏側は銀白色をしています。名前は翅の裏側が銀白色のシジミチョウという意味です。

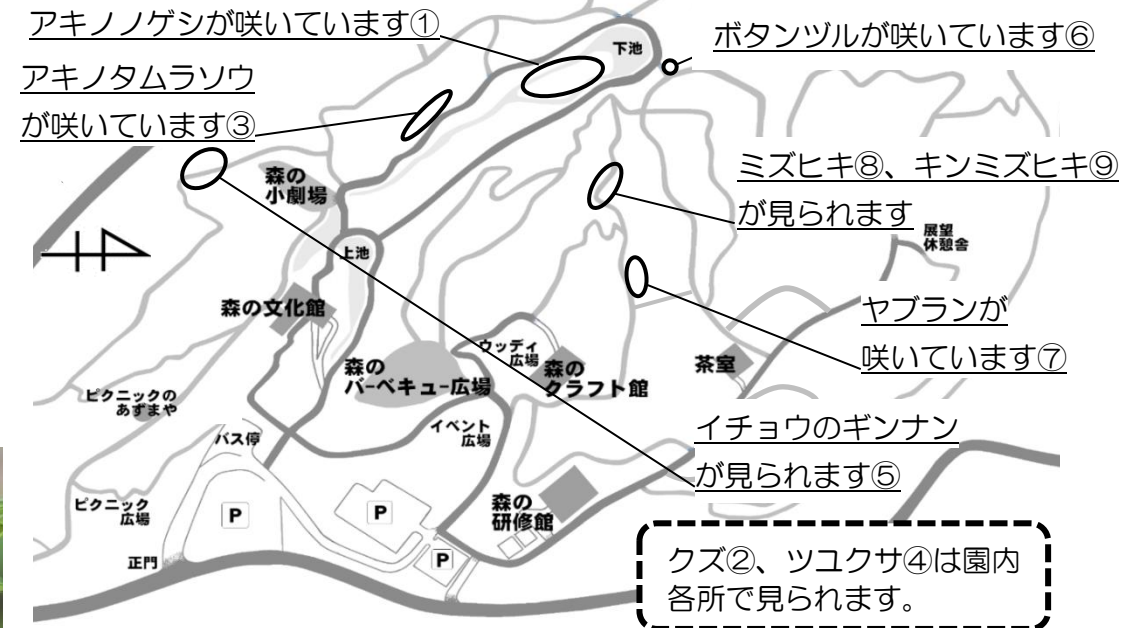
みどころ

令和6年9月下旬

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

Mikiyama

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



アキノノゲシ (キク科) ①  
ススキ草原やチガヤ草原で淡い黄色の花を咲かせています。



クズの花が満開 (マメ科) ②  
秋の七草の1つであるクズの花が満開です。

アキノタムラソウ (シソ科) ③  
7月頃から11月頃まで穂状に花を咲かせています。学名は *Salvia japonica* で、目立つ名前が付けられています。



ツユクサ (ツユクサ科) ④

園内の至る所に生えている一年草ですが、拡大して見ると青色の花弁、黄色い雄蕊などカラフルで美しい花です。



リスアカネ (トンボ科)  
「リス」はトンボ学者の名前に由来するそうです。



ボタンツル (キンポウゲ科) ⑥  
センニンソウと同じ時期によく似た花を咲かせます。葉の形や蕾の形で区別できます。



ヤブラン (キジカクシ科) ⑦  
キジカクシ科の多年草で、ラン(蘭)ではありません。花が終わると黒くて丸い種子ができます。



イチョウのギンナン (イチョウ科) ⑤

雌雄異株の植物で、雌木にしか果実(ギンナン)はできません。ギンナンは独特においがあり、素手でさわるとかぶれることもあります。このためか、最近植栽されるイチョウはギンナンのできない雄木が多いようです。



メジロ (メジロ科)

落葉樹に葉があるうちは林内の野鳥は目立ちませんが、静かに待っていると、メジロ、シジュウカラ、エナガ、コゲラなどが活発に活動していることが分かります。



コゲラ (キツツキ科)



ミズヒキ (タデ科) ⑧

どちらも、名前は、花の並びが「水引」に似ていることに由来します。



キンミスヒキ (バラ科) ⑨